

ご先祖さまから受け継いだ土地だけど、自分もいつまでも若くはなくて、どうやって守ったらいいか心配している

鳥獣害や水路の老朽化
自分の体も老朽化
息子は都会に出ているし...

主人が亡くなったけど
私は田んぼの面倒
なんてみれないわ...

みんなのそんな思いを分かち合い
みんなです話しましょう

地域計画のすすめ

農地は地域の宝です
農業をしている人だけではとても守れません
地域みんなでどうするのか考えましょう

① 地域計画って何だ？

私達の住んでいる地域はどこも高齢化が進み、近い将来全ての農地を守る事が難しくなってきました。

地域計画では、地域のみなさんで農地や環境を守るために何をすべきかを話し合い、守るべき農地を決め、地域内の農業を担い耕作する人を目標地図に位置付ける等、地域農業の将来像を描いていきます。

② 地域計画をすすめるとどうなるの？

地域計画の策定をすすめることで、農地の現状や課題を地域のみなさんで共有し向き合い、少しでも長く美しい農村環境を未来へつないでいくことができます。

また、今後、地域計画を策定していないと農地に関連した補助金や交付金、土地改良事業などが受けられなくなる可能性もあります。

③ 具体的に何をしたらいいの？

- 1、アンケートの実施（意向確認）
- 2、アンケート結果により目標地図(案)を作成
- 3、目標地図により地域計画(案)を作成
- 4、地域で協議し、地域計画・目標地図完成

地域計画策定後は、1年に1度は話し合いの機会を設け、見直しをしてください。

④ 地域での話し合いに支援金が出ます

地域計画では、協議の場を設け地域で話し合うことが重要となります。

養父市では、協議の場1回につき5,000円(5回まで)の支援制度があります。支援制度の手続き等については、農地政策課(裏面参照)にお問い合わせください。



農業委員会が相談にのります!!
詳細は農業委員会事務局へ

Tel. 079-664-1450

人・農地プランから地域計画へ〈これまでの経過〉

【背景】 人口減少や高齢化の進展→農業者の減少，不耕作地の増加

1 「人・農地プラン」の策定（2012～）

地域の農業を担う中心経営体を位置づけ，地域農業の将来の在り方を示した

2 「人・農地プラン」の実質化（2019～2021）

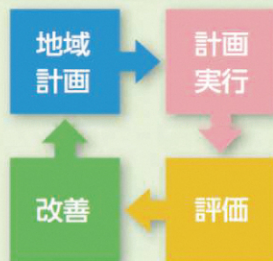
地区内の耕作状況，後継者の有無等のアンケート実施
耕作者の年齢別に農地の耕作状況を「見える化」
農業者，関係機関の話合い，5～10年後の農地利用を担う経営体のあり方を検討

3 「地域計画（人・農地プランの法定化）の策定（2022～）」

地域農業の10年後の在り方や農地利用の姿を「目標地図」として見える化し，「地域計画」を策定

「地域計画」の実現に向けて・・・

地域計画を策定後は，取組の実行，評価，改善を行いながら，地域農業を進めていきます。関係機関も連携して支援します。



地域計画を実現するための様々な施策が検討されています。

- 話合いにより，農地中間管理事業を活用して集約化等を進める地域への支援
- 目標地図に位置付けられた経営体等への機械・施設導入支援
- 目標地図に位置付けられた集落営農等への支援
- 目標地図に位置付けられた者等の後継者が経営継承し，発展させる取組支援

「地域計画」に関するQ&A

いつまでに作るの？

令和6年度末までに養父市が地域計画を策定・公告します。



10年先を見通すのは大変じゃない？

計画は一回作って終わりではなく，話し合いを繰り返しながら見直していきます。



農業者はどのように協力すれば良いの？

地域の話し合いやアンケートなど積極的にご協力願います。まずは、家族・組織・法人等で将来や10年後の地域農業について話し合ってみてください。